

「河川技術・流域管理分野 地域課題」（令和2年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
大野川下流域の赤潮発生予測・制御に関する技術開発	西日本工業大学 高見 徹	B
<p data-bbox="204 533 395 566"><研究概要></p> <p data-bbox="204 600 1390 813">九州北東ブロックを代表する清流である大野川の下流域において近年発生している水質環境基準超過と赤潮発生を課題を解決するため、国土交通省等の行政機関が蓄積してきた流域の水文・水質、気象、潮位に関する種々のデータと統計学的解析によって環境基準超過と赤潮発生との関係を明らかにするとともに、新たな解析手法である機械学習を利用したモデルによって赤潮発生を予測し、赤潮発生を抑制する対策の検討を試みた。</p>		
<p data-bbox="204 1090 523 1124"><事後評価指摘事項></p> <p data-bbox="204 1158 1374 1236">数値モデルと統計解析の関連性を分析し、当該区域における観測値の取得に努め、赤潮発生の原因究明がなされることを期待する。</p>		

※ 評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。